

上田市立第一中学校校長室だより さんがい松 No, 9

令和元年12月5日

本当に早いもので、12月に入りました。本年も、あと1ヶ月ありませんね。今年は例年以上にインフルエンザの流行が早く、もうすでに上田市内の小中学校においても学級閉鎖が行われているところが出てきました。年末に向けて、ますます忙しい日々が続きます。みんなで健康管理にしっかり取り組み、令和元年の締めくくりを行うことができるようにしていきましょう。うがい・手洗い・睡眠時間の確保等、まずはできることを徹底しましょう。ご家庭においても、ご協力をよろしくお願いします。

1 学年交流学習が行われました

10月31日(木)、本年度第2回目の「1学年交流学習」が行われました。1学期の第1回目の交流学習の反省を生かし、相手の方の気持ちを大切にしながら計画を立て、当日交流をしていくことができました。6月に行われた第1回目と同じ施設の訪問でした。前回残された課題や事前に行われた「福祉体験活動」の成果を生かしつつ、更に一段階上がった交流を行うことができたと思います。学年・学級としての交流活動はこれで一区切りとなりますが、個人的に交流を続けたり、これからの自分の生き方に生かしていくことができたりするといいいですね。

春の交流はインフルエンザで実施できなかった1年2組も、今回は行ってくることができました。その時の感想を、学級日記より引用させていただきます。また学級担任の小口先生が、信濃教育会の「広報」に書いていただいた記事もあわせて紹介します。



【交流の様子】

交流でお世話になった施設

学級	施設名
1年1組	神川デイサービスセンター
1年2組	うえだみなみ敬老園
1年3組	上田養護学校
1年4組	ケアライフ古里
1年5組	ハッピーシニアリビング上田
1年6組	デイサービスとりい

- 「1年2組学級日記から」
- 今日は敬老園でおばあちゃんがニコニコしていておどろいた。おじいちゃんが少なく、おばあちゃんが多かった。
 - 今日は交流会をやりました。みなみ敬老園まで歩いて行きました。初めてだったので、「おばあちゃんたち楽しめるかな？」など不安と緊張をしてしまいました。けれども、楽しい一日を過ごすことができました。



『信濃教育』から 「交流学習(福祉) 相手が喜んでくれるには」
上田市立第一中学校 小口 亮 先生

上田市立第一中学校の1年生は、年に2回、学級ごとに異なる施設での交流学習をしています。敬老園や特別支援学校など、交流先はさまざまです。事前にアイマスク体験などの福祉体験を行い、相手の立場に立ち、相手の気持ちを想像しながら交流計画を立てています。「お年寄りだから、昔の遊びがいいのかな」と、遊具を手作りしたり、昔の歌を練習したりして、相手を思いやる心とともに自ら考え、自ら動く力を育んでいます。

生徒会立会演説会、役員選挙を行いました

11月26日(火)、令和2年度生徒会役員立会演説会及び投票、11月27日(水)には決選投票がそれぞれ行われました。

その結果、次のように生徒会の役員が決定しました。どの候補者も立会演説会において全校生徒の前で堂々と自分の考えを発表してくれました。とても立派でした。選出された皆さんには、ぜひ頑張ってほしいと思います。また残念ながら惜しくも落選した皆さんも、これからの活躍に心から期待しています。全校の皆さんには、投票を通して自分たちの代表者を選んだ責任があります。ぜひ本年度同様、新役員の皆さんにもしっかりと協力してほしいと思います。よろしくお願いします。



【立会演説会での発表】

役 職	学 級	氏 名
生徒会長	2年3組	戸堀 佑美さん
男子副会長	2年5組	白井 稜久さん
女子副会長	2年2組	小宮山羽乃さん

一中ブロック人権同和教育研修会を行いました

11月22日(金)、「一中ブロック後期人権同和教育研修会」が、本校第一中学校を会場に開催されました。この研修会を実施するにあたっては、昨年度本校で行われた「長野県道徳教育学会上田大会」での成果をもとに、道徳の授業による全学級授業公開という形で準備を進めてきました。

そして当日は、計画どおり実施することができました。神川小学校と東小学校の先生方が来校され、参観をしていただきました。当日は、どの学級においても道徳の授業に一生けん命に取り組む姿が多く見られ、本当にうれしかったです。

公 開 し た 授 業

学 年	内容項目	資 料
1 学年	Aー(1) 自由と責任	「裏庭での出来事」
2 学年	Cー(1 2) 社会参画	「ちがいの意味を見直す」
3 学年	Cー(1 1) 公正、公平	「ぼくの物語 あなたの物語」

参観された先生方の感想

- 人権意識が高い生徒が大勢いると感じました。と同時に、他者意識がしっかり持てていると思いました。「ちがいのちがい」では、誰かが困ることは、違ってはいけない。誰かが悲しむことはいけない。他者にしっかり目が向いているから、差別はあってはいけない、という気持ちが位置づけられていると感じました。
- 小学生の時担任をしていたクラスの子が3年生になっていて、立派に学校生活を送っていて、お互いを認め合っている様子、励まし合っている様子などを見させていただいて、とてもありがたかったです。これからも、人を思いやり、失敗をした人を支え合う大人になってほしいと願うばかりです。

〇●〇●れんらく〇●〇●

- (1) 保護者懇談会が、12月10日(火)～17日(火)の5日間の予定で実施されます。年末のお忙しいところではありますが、三者面談において、本年のまとめを行ったり、来年への見通しを確認したりできますよう、ご協力をよろしくお願いします。
- (2) 先日、地域の方からご指摘いただきました。
「中学生が、歩道を3～4人で横並びに歩いている。坂を下って登下校する小学生が縁石に上がったりして、中学生をよけて歩いている。地域の方にも迷惑がかかっているの、みんなで考えてほしい。」
すごく残念に思います。地域に迷惑をかけるのではなく、逆に地域に少しでも貢献できる中学生を目指しましょう。

